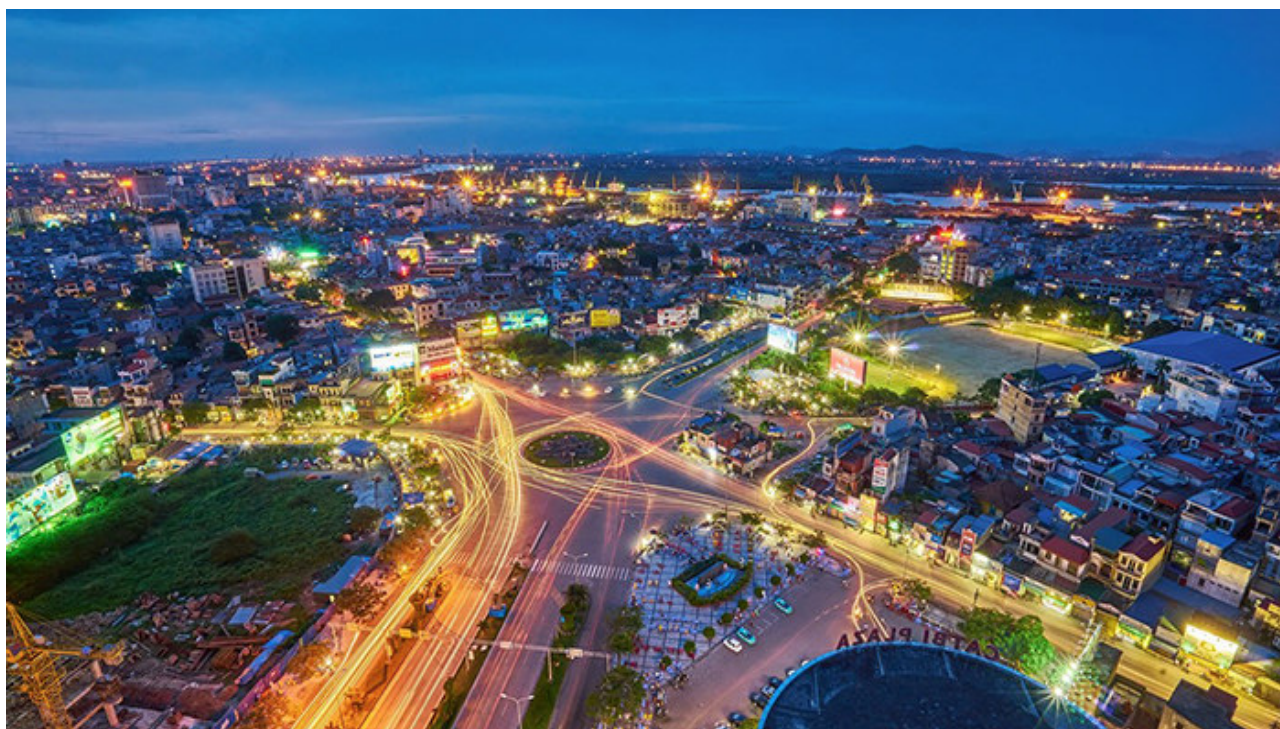


2020年10月20日

ハイフォン市

ハイフォン市は首都ハノイから東に100キロメートルほどの沿岸部に位置し、ベトナム北部最大の港湾都市です。その面積は1,503平方キロメートル、また人口は約203万人（2019年）で、ホーチミン市、ハノイ市に次ぐベトナム第3の都市です。フランス植民地時代には、サイゴン（現在のホーチミン市）およびハノイと並んで第一級都市とされており、19世紀末フランスはハイフォンを「インドシナの経済首都」にすることを考えていたほどの経済的重要拠点でした。現在、同市は中央直轄市の一つであり、第一級都市となっています。重要な交通ハブでもある同市は北部ベトナムの「重要経済中核」のひとつとされ、北部沿岸地域の経済や科学技術の中心地です。



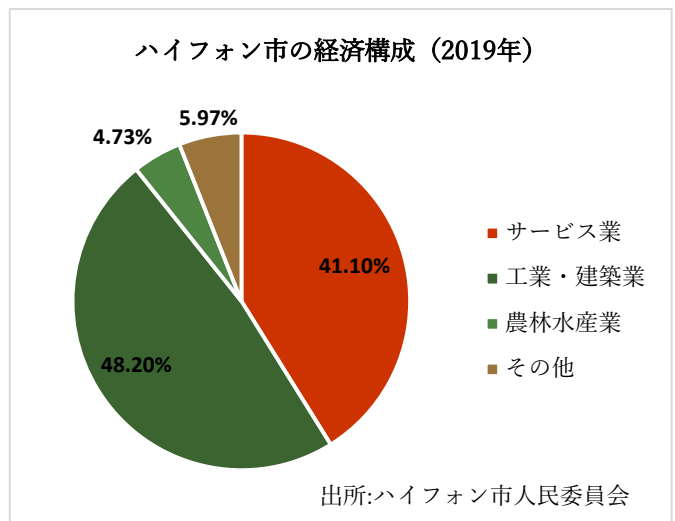
当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

◆ 経済について

2019年の域内総生産（GRDP）は、約181兆ドン（約77.8億ドル）と推定され、その成長率は史上最高水準となる約16.7%でした。

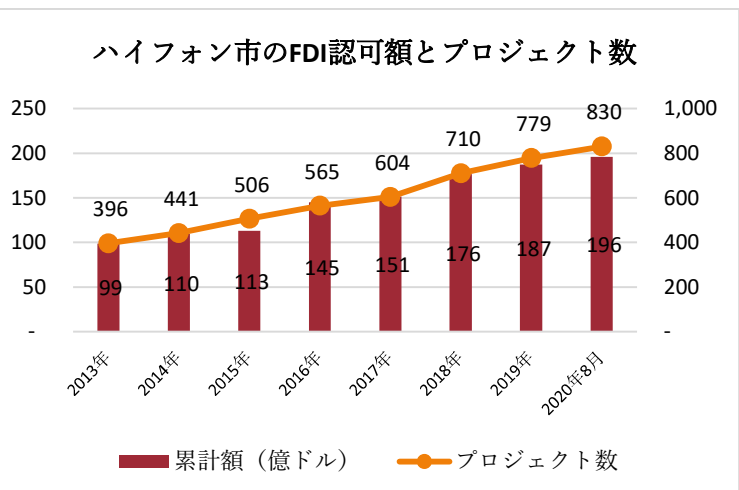
同市は、工業化と近代化に向けて持続可能な経済成長を加速するという目標を定め、その経済構造は、工業・建築業およびサービス業中心に移行しています。2019年には、工業・建築業が前年比+24.3%の87兆ドンに達し、GRDPの48.2%を占めました。サービス業は、前年比+11.3%の74兆ドンで同41.1%を占めました。一方、農林水産業の比率は4.73%でした。



海外直接投資（FDI）に関しては、2019年に市全体で14の国・地域から87の新規プロジェクトを誘致し、その認可額は621.6百万ドルでした。その内、工業関連と経済関連の新ブ



ハイフオン市の FDI 関連企業



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



ハイフォン市にあるビンファストの自動車工場



ハイフォン港

プロジェクトの認可額は564百万ドルに達し、市全体総認可額の90.8%を占めました。2019年12月の時点で、海外直接投資流入額（累計ベース）は779件の約187.4億ドルとなり全国で7位にランクされました。外国人投資家の中で、日本の投資家からの認可額が最大の割合（31.9%）を占め、韓国がそれに続きました。

同市には大規模な工業団地が集積しています。主要な工業地帯は、ディンブー工業団地、チャンズエ工業団地、野村ハイフォン工業団地、ベトナム・シンガポール工業団地（VSIP）などです。ビングループ傘下企業でベトナム初の国産自動車メーカーであるビンファスト(VinFast)社の自動車工場も、ハイフォン市ディンブー・カットハイ経済区に建設されています（工場面積：335ヘクタール、総投資額：35億ドル）。

ベトナムで最も重要な港湾都市として知られる同市には、ハイフォン港湾とラックフエン国際大深海港があり、海洋経済開発の面でも大きな可能性があるかと期待されています。なお、同市はベトナム北部最大の港湾物流拠点として、環境に配慮したグリーン港湾都市（Green Port City）を目指しています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

◆ 観光について



「火炎樹市」と言われるハイフォン市

ハイフォンは、工業港湾都市であるだけでなく、観光でも大きな可能性があると言われていています。ハイフォンと言えば赤い火炎樹の花で有名で、街には火炎樹が、特に道路沿いや学校の周りに数多く植えられています。そのため、同市は別名で「火炎樹市」とも言われています。また、同市独特の食べ物や伝統的なお祭りは特徴的なものとして有名です。



カットバー島: ハイフォン市の中心部からも約30キロに位置するカットバー島はユネスコの世界遺産(自然遺産)に登録されています。ハイライトは国立公園でのトレッキングです。山ありジャングルありと、手つかずの自然を楽しむカットバー島ならではのアクティビティとなっています。



ハイフォン博物館: 同市の歴史、自然、文化を紹介した博物館です。これまでに北部ベトナムで発掘された古代の石器や青銅器、植民地時代・ベトナム戦争時代のホーチミン主席に関連する品々などが展示されています。



闘水牛祭り: 毎年旧暦9月8日に、同市内にある海辺の街ドー・ソンで行われる伝統的な闘水牛祭り。この祭りはドー・ソンの人々の勇敢な精神を表すもので、今や同の観光の目玉になっています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

同市と言えばストリートフードで有名です。同市を訪れた観光客はハイフォン名物の蟹汁麺バン・ダー・クア(Banh da cua)、長細いパンにレバーペーストをはさみ、ハイフォン市のトウガラシソースで食べるバンミーカイ(Banh my cay)、海鮮揚げ春巻きネムクアベー (Nem Cua Be)、貝料理オックサオ(Oc xao)などの名物料理を堪能できます。



バン・ダー・クア



バンミーカイ



ネムクアベー



オックサオ

【写真提供：JVRC】 [http : www.capital-am.co.jp](http://www.capital-am.co.jp)

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。